

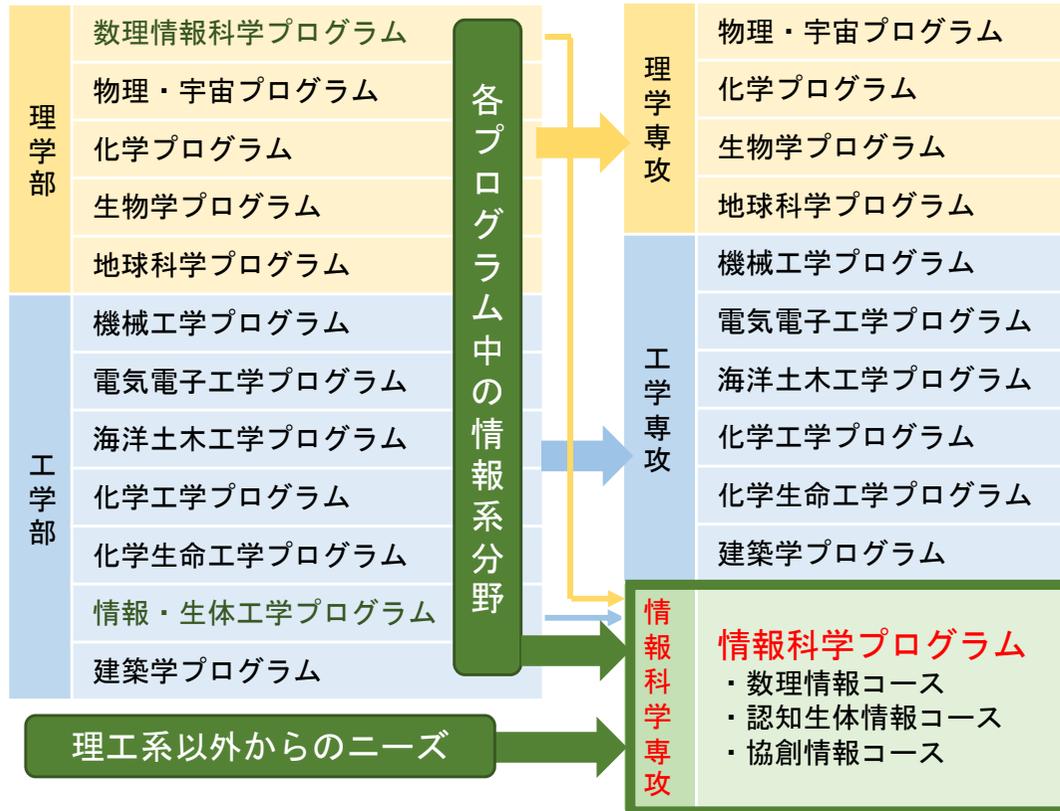
情報科学専攻（令和7年4月新設）とは？

情報科学的な視点に基づく調査力、分析力、課題発見能力の養成

農水、医歯薬、経済、文化、教育などの異分野との連携を牽引するための応用力と実践力の養成

情報科学専攻では、

- ・ 地域の情報教育・人材強化の拠点となるDXコネクセンターを活用した、実践的な教育・研究を「オール鹿児島」で展開します。
- ・ 情報科学をベースとした3コースにより幅広い高度情報人材を養成します。



博士前期課程 情報科学専攻 情報科学プログラム

協創情報コース

高度で広範な情報工学の技術を、理・工学の各分野や農水、医学、経済など様々な分野に応用するための能力養成を強化

数理情報コース

情報セキュリティや位相的データ解析、情報幾何学など、特に高度な数学の知識が必要な情報科学分野の教育体制を強化

認知生体情報コース

ニューロテクノロジーやバイオメディカルエンジニア、次世代ヒューマンインターフェイス等の生体分野における技術開発につながる教育を強化

情報科学の基礎と応用力を備える幅広い高度情報専門人材を輩出

メーカー、メディア、サービスなど、様々な分野で活躍

博士後期課程 総合理工学専攻 情報科学コース

課題発見、対策の立案と実行、解決・発展の一連のプロセスをカバーできるエキスパートの養成

学部の時の研究室に所属しながら、情報科学プログラムで高度な情報科学を学ぶことで、**学部の卒論をベースにさらに研究を発展させることもできます。**（その場合は、学部の時の指導教員が情報科学プログラムの教員を兼務することになります）

情報科学専攻の教育カリキュラムの構成

修了要件：修得単位数30単位以上、累積GPA 2.00以上（理学専攻、工学専攻と同じ）

※このスライドは全体の大まかな構成を表しています。正確には進学後に配布される履修要項を参照してください。

研究科共通科目

他専攻と同じ科目

大学院横断科目群

(1 単位以上)

- ・研究倫理
- ・知的財産戦略構築実務論
- ・技術経営と社会連携 など

語学関連科目群

(2 単位以上)

- ・GOES海外研修
- ・英語論文講読 など

実践力養成科目群

(※5 単位以上)

- ・先端科学特別講義
- ・教育研究マネジメント
- ・研究インターンシップ
- ・国内学会特別研修
- ・国外学会特別研修 など

※専門科目の情報科学特論
(必修2 単位)を含む。

専攻科目 情報科学専攻の科目

修士論文特別研究 I, II (8単位)

コースワーク科目(4単位)

- ・情報科学実践演習 I, II

実践力養成科目群 (2単位)

- ・情報科学特論

情報科学関連科目(2単位以上)

数理情報コース科目

- ・複素解析学特論
- ・データサイエンス特論
- ・幾何学特論 など

認知生体情報コース科目

- ・生体情報システム特論
- ・聴覚情報処理特論
- ・生体運動制御特論 など

協創情報コース科目

- ・計測システム特論
- ・並列処理システム特論
- ・計算科学特論 など

研究科内指定科目

理学分野科目

- ・星間物理学特論
- ・表面物理学特論
- ・測地学特論

工学分野科目

- ・システム制御特論
- ・マイクロ波工学特論
- ・海洋物理環境学特論
- ・生物化学工学特論
- ・人工知能計算化学
- ・建築構造解析特論 など

選択科目 (8単位まで)

- ・理工系科目 (指定科目以外の理学専攻・工学専攻の科目)
- ・他分野科目 (理工学研究科以外の学内外の科目)

※先取り履修で修得した科目も、修了に必要な科目として認定されます。
(進学後の申請が必要)

協創情報コース とは？

地域と連携した実践的教育
による高度専門人材の養成
を目指しています。

大学院での講義科目

情報科学専攻科目

情報科学分野に関する高度な知識と技術

理工系科目

・コースワーク

様々な分野における情報技術に関わる課題の抽出と対応策の検討

コースワーク・他分野

・インターンシップ

産学連携による社会実装とフィードバックによる実践的教育

産学連携の支援

DXコネクセンター

多様な社会ニーズに応える
高度情報専門人材